

## 保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人金丸福祉会
施設名	柳原ぷらす保育園
報告者（役職）	重松 輝子（園長）
住所・連絡先	福岡県糟屋郡宇美町宇美東 2 丁目 2-15
	 092-932-0181 E-mail nagibaruplus@gmail.com

### ○タイトル（保育計画）

ちびっ子音楽隊

### ○主な助成備品

ドラム・キーボード・マリンバ・鉄琴などの楽器

## 1. 保育計画策定の目的

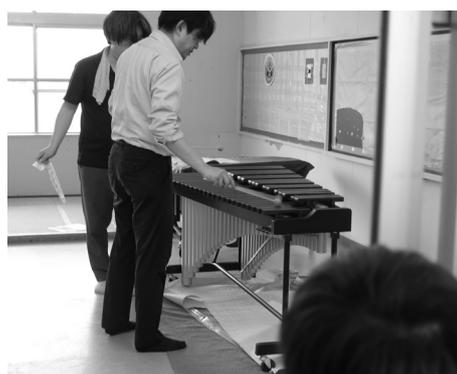
楽器の演奏は音を楽しむことができます。聴く人の心も動かします。そのことを子どもたちに伝えたいと思い、ちびっ子音楽隊を結成しようと考えました。

楽器の演奏を通して、リズム感や表現力を育てることができます。また、友だちの音を聴くことで子どもたちの聴く力を伸ばします。聴く力を身に付けることで相手を知ること、思いやることにつながると思います。そして、園内だけでなく、地域の方々とつながっていくためのツールになることを目指します。

## 2. 具体的な実施内容

2023 年度の年長児は 23 名で、ひとり親家庭など丁寧な家族支援を要する子どもや養護児も在籍しています。楽器が園に到着して、荷解きを子どもたちと見学をしました。楽器店の方が、次々と楽器を組み立てるところを見て、初めて目にするドラムやマリンバなどの楽器に子どもたちから歓声が上がりました。あの楽器はどんな音がするのだろうという声が聴かれ、興味津々に楽器を見ている子どもたちでした。楽器店の方が作業の途中にマリンバを叩いて音を聴かせてくれました。

きれいな音！かわいいね！などとワクワクが止まらない様子でした。後日、届いた楽器を使って楽器遊びを行いました。やってみたい、演奏してみたい楽器を子どもたちに選んでもらい、音を奏でてみました。そーっと触れてみたり、力強く叩いてみたり、それぞれ音を奏でて楽しむことができました。また、今回



購入した楽器を使って、12月の発表会で合奏することを子どもたちに伝えると「早く練習したい！」という声も聞かれ、楽しみにしている様子でした。子どもたちに楽器の使い方や合奏の楽しさを伝えるにあたり、他のクラスの先生と協力して、合奏曲「ミッキー・マウス・マーチ」の練習に取り組みました。初めて楽器を扱う先生もいましたが、お互いに協力して教えあい、楽しみながら練習を行いました。そして、個別での練習と全体での合わせを繰り返し行い、子どもたちに聴いてもらいました。演奏を聴いた子どもたちは自分たちでも早く練習したいと意欲を見せていました。子どもたちと先生との練習が始まると楽器のリズムやメロディーを口ずさむ姿がたくさん見られるようになり、楽器の時間を楽しみにしている様子が見られました。難しいリズムも、「できない」と諦めず、何度も挑戦して毎日の積み重ねでできるようになることが自信につながっていた子もいました。個別の練習から、少しずつ他の楽器とも合わせられるようになると、自分の練習したリズムの役割に気づき、合わせられた喜びを感じられているようでした。



12月の発表会では、保護者を前に楽器のお披露目と子どもたちの合奏を聴いていただきました。たくさんの方の前での演奏に緊張していた子どもたちでしたが、指揮を見て、自分たちの合奏をしっかりと発表することができました。演奏の後、たくさんの拍手を受けて、子どもたちはほっとした様子と共に、達成感を持った表情を見せていました。今回は発表会での演奏でしたが、この経験を活かし、園行事、地域の方々との交流など幅広く活用できるように次年度もつなげていきたいと思えます。



### 3. その成果と評価

楽器の合奏は音を奏でる楽しさ、上手いかない悔しさから、できたときの嬉しさなど、子どもたちの色々な感情を刺激してくれる活動になりました。楽器は子どもたちにとって初めての経験で、触れる前から興味を持つ子が多く、やってみたい、面白そうと意欲を持っていました。練習を通して、自分の担当する楽器が好きになると、合奏の中で自分の役割を見つけようと他の楽器の音を聴くようになります。音色が違ういろいろな楽器を使って一つの音楽を作る合奏の楽しさから他を認め合う大切さにも気づくことができました。今回の活動を通して、リズム感や表現力、努力などあらゆる場面で成長を感じられました。また、発表会での楽器のお披露目と子どもたちの合奏は保護者の方に驚きと感動を与えていました。力強い大太鼓とドラムのリズムにキーボードのメロディーとそれに重なるマリンバや鉄琴など、保育士の伴奏なしで子どもたちの力だけでの合奏は迫力があり、それは、演奏後のたくさんの拍手につながりました。

### 4. 今後の課題と展望

2023年度の発表会において年長児が楽器に触れ、合奏の取り組みを行いました。その取り組みを見ていた他のクラス（年中児・年少児など）が今後の楽器遊びなどで触れる機会を持ち、保育士も一緒になって音楽を楽しみながら、保育をつないでいきたいと思います。

今回、第一生命財団様より助成していただいた素敵な楽器は私たち保育園の文化財として、これからも子どもたちの運動会や発表会などの園行事や保護者や地域の方との交流などあらゆる機会に登場する予定です。

これからより発展した保育を充実させていくように努めてまいりたいと思います。

以上